

業種別・地域別 製造拠点としての優劣

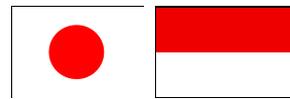


インドネシア進出サポート
小野耕司





自己紹介



- 1975/4～1981/6 ヤマハ(株)入社 インドネシア工場立上支援分野配属
- 1981/6～1987/3 インドネシア工場生産課長 電子鍵盤楽器の組立生産
- 1987/3～1995/7 インドネシア工場長 電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化
- 1995/7～2005/3 帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト
- 2005/3～現在 ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立
インドネシア語翻訳・通訳

静岡大学客員教授、専修大学客員講師

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家

独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー

一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー

一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)講師

一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事

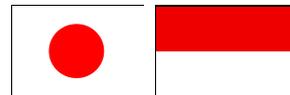
などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社



インドネシアとの
関わりも50
年になりました
た



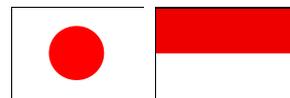
セミナー要旨



- インドネシア国内に製造会社を設立し、工場を建設する際の大きな課題は、建設場所をどこに選ぶのかです。
- インドネシア国内には工業団地と言われるものか200以上存在しますが、工業団地以外にも選択肢はあります。
- 土地価格はもちろん大事な要因ですが、サプライチェーン運営上の効率、労働力確保の利便性、環境問題上の制約、駐在員の生活環境、そして政府方針との親和性など、様々な観点から評価しなくてはなりません。
- このセミナーでは、[インドネシア事業分類標準\(KBLI\)](#)の製造分野の主な業種別に、ジャワ島内の主要な工業地域の、製造拠点としての優劣を考察してみます。
- 参考資料 [上手な工場用地の探し方](#)
[上手な工業団地の選び方](#)
[インドネシア主要21都市基礎情報](#)
[日本企業のためのインドネシア州別徹底ランキング](#)
[インドネシアでの業種別市場開拓手法](#)
[インドネシア進出の業種別SWOT分析](#)

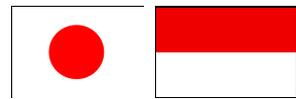


ジャワ島内の主な工業地域





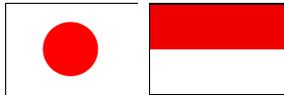
目次



1. 飲料・食品産業
2. 衣料・皮革産業
3. 木材・家具産業
4. 印刷産業
5. 化学産業
6. 化粧品・医薬品産業
7. ゴム・樹脂産業
8. 金属産業
9. 情報技術産業
10. 電機産業
11. 自動車産業



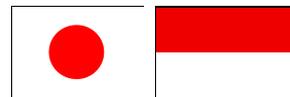
1. 飲料・食品産業



地域	飲料・食品産業にとっての優劣	評価
タンゲラン	<ul style="list-style-type: none">人口3,000万人の大ジャカルタ圏と言う巨大消費市場に隣接している。最大の外港であるタンジュンプリオク港に近く、輸出入の利便性が高い。	◎
ブカシ・カラワン	<ul style="list-style-type: none">人口3,000万人の大ジャカルタ圏と言う巨大消費市場に隣接している。最大の外港であるタンジュンプリオク港に近く、輸出入の利便性が高い。	◎
バンドン	<ul style="list-style-type: none">人口250万人は巨大消費市場ではないが、大ジャカルタ圏までは高速道路と鉄道による輸送インフラが活用出来る。	○
スマラン	<ul style="list-style-type: none">人口170万人は巨大消費市場ではないが、大ジャカルタ圏までは高速道路と鉄道による輸送インフラが活用出来る。	○
ジョクジャカルタ	<ul style="list-style-type: none">賃金はインドネシア国内で最も低いが、人口40万人は消費市場としては期待出来ず、ジャカルタ圏までの輸送インフラも未整備である。	×
スラバヤ・マラン	<ul style="list-style-type: none">人口400万人は大消費市場であり、大ジャカルタ圏までは高速道路と鉄道による輸送インフラが活用出来る。二番目の外港であるタンジュンペラク港に近く、輸出入の利便性が高い。	△



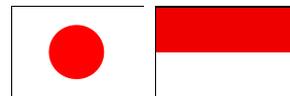
2. 衣料・皮革産業



地域	衣料・皮革産業にとっての優劣	評価
タンゲラン	<ul style="list-style-type: none">賃金が高く労働集約型産業には適さないため、多くの企業が転出している。最大の外港であるタンジュンプリオク港に近く、輸出入の利便性が高い。	×
ブカシ・カラワン	<ul style="list-style-type: none">賃金が高く労働集約型産業には適さないため、多くの企業が転出している。最大の外港であるタンジュンプリオク港に近く、輸出入の利便性が高い。	×
バンドン	<ul style="list-style-type: none">大手繊維企業が多く、世界的なブランド品の下請会社が多い。	◎
スマラン	<ul style="list-style-type: none">繊維および衣料産業の歴史が無く、地場産業の支援が期待出来ない。	×
ジョクジャカルタ	<ul style="list-style-type: none">賃金はインドネシア国内で最も低いため、労働集約型産業には適している。学生や観光客だ成り立っているため、ファッションの発信基地としての役割が期待される。	○
スラバヤ・マラン	<ul style="list-style-type: none">賃金が高く労働集約型産業には適さない。二番目の外港であるタンジュンペラク港に近く、輸出入の利便性が高い。	×



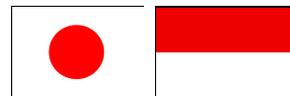
3. 木材・家具産業



地域	木材・家具産業にとっての優劣	評価
タンゲラン	<ul style="list-style-type: none">賃金が高く労働集約型産業には適さない。最大の外港であるタンジュンプリオク港に近く、輸出入の利便性が高い。	×
ブカシ・カラワン	<ul style="list-style-type: none">賃金が高く労働集約型産業には適さない。最大の外港であるタンジュンプリオク港に近く、輸出入の利便性が高い。	×
バンドン	<ul style="list-style-type: none">賃金が高く労働集約型産業には適さない。	×
スマラン	<ul style="list-style-type: none">近くにジュパラと言う家具製造業者が集まる地区がある。賃金は比較的安く、労働集約型産業に向いている。	◎
ジョクジャカルタ	<ul style="list-style-type: none">賃金はインドネシア国内で最も低いため、労働集約型産業には適している。大ジャカルタ圏への輸送インフラの整備が遅れている。	△
スラバヤ・マラン	<ul style="list-style-type: none">賃金が高く労働集約型産業には適さない。昔からインドネシア全土の木材の集積地である。二番目の外港であるタンジュンペラク港に近く、輸出入の利便性が高い。	○



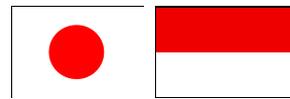
4. 印刷産業



地域	印刷産業にとっての優劣	評価
タンゲラン	<ul style="list-style-type: none">人口3,000万人の大ジャカルタ圏と言う巨大消費市場に隣接している。様々な業種が集まっているため、工業印刷の需要が多い。	◎
ブカシ・カラワン	<ul style="list-style-type: none">人口3,000万人の大ジャカルタ圏と言う巨大消費市場に隣接している。様々な業種が集まっているため、工業印刷の需要が多い。	◎
バンドン	<ul style="list-style-type: none">衣料分野での印刷需要が多い。	○
スマラン	<ul style="list-style-type: none">印刷を必要とする産業分野は比較的少ない。	×
ジョクジャカルタ	<ul style="list-style-type: none">印刷を必要とする産業分野は比較的少ない。	×
スラバヤ・マラン	<ul style="list-style-type: none">様々な業種が集まっているため、工業印刷の需要が多い。	○



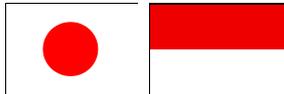
5. 化学産業



地域	化学産業にとっての優劣	評価
タンゲラン	<ul style="list-style-type: none">以前から化学産業が多く集まる地区であるため、環境規制は全国で最も厳しい。	△
ブカシ・カラワン	<ul style="list-style-type: none">様々な多くの業種が集まっているため、工業団地の環境規制を遵守出来れば需要は多い。	○
バンドン	<ul style="list-style-type: none">衣料分野での原料の需要が多い。	○
スマラン	<ul style="list-style-type: none">当地で化学品を調達する産業は少ない。	×
ジョクジャカルタ	<ul style="list-style-type: none">当地で化学品を調達する産業は少ない。	×
スラバヤ・マラン	<ul style="list-style-type: none">様々な多くの業種が集まっているため、工業団地の環境規制を遵守出来れば需要は多い。	○



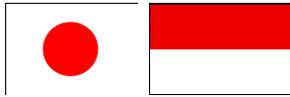
6. 化粧品・医薬品産業



地域	化粧品・医薬品産業にとっての優劣	評価
タンゲラン	<ul style="list-style-type: none">人口3,000万人の大ジャカルタ圏と言う巨大消費市場に隣接している。最大の外港であるタンジュンプリオク港に近く、輸出入の利便性が高い。	◎
ブカシ・カラワン	<ul style="list-style-type: none">人口3,000万人の大ジャカルタ圏と言う巨大消費市場に隣接している。最大の外港であるタンジュンプリオク港に近く、輸出入の利便性が高い。	◎
バンドン	<ul style="list-style-type: none">人口250万人は巨大消費市場ではないが、大ジャカルタ圏までは高速道路と鉄道による輸送インフラが活用出来る。	○
スマラン	<ul style="list-style-type: none">人口170万人は巨大消費市場ではないが、大ジャカルタ圏までは高速道路と鉄道による輸送インフラが活用出来る。	△
ジョクジャカルタ	<ul style="list-style-type: none">学生や観光客だ成り立っているため、ファッションの発信基地としての役割が期待される。	△
スラバヤ・マラン	<ul style="list-style-type: none">人口400万人は大消費市場であり、大ジャカルタ圏までは高速道路と鉄道による輸送インフラが活用出来る。二番目の外港であるタンジュンペラク港に近く、輸出入の利便性が高い。	△



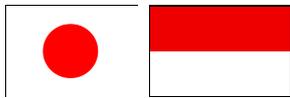
7. ゴム・樹脂産業



地域	ゴム・樹脂産業にとっての優劣	評価
タンゲラン	<ul style="list-style-type: none">以前からゴム・樹脂産業が多く集まる地区であるため、環境規制は全国で最も厳しい。	△
ブカシ・カラワン	<ul style="list-style-type: none">様々な多くの業種が集まっているため、工業団地の環境規制を遵守出来れば需要は多い。最大の外港であるタンジュンプリオク港に近く、輸出入の利便性が高い。	◎
バンドン	<ul style="list-style-type: none">当地でゴム・樹脂製品を調達する産業は少ない。	×
スマラン	<ul style="list-style-type: none">当地でゴム・樹脂製品を調達する産業は少ないが、今後次第に西ジャワ州から移転して来ると期待される。	△
ジョクジャカルタ	<ul style="list-style-type: none">当地でゴム・樹脂製品を調達する産業は少ない。需要の多い西ジャワ州までの輸送インフラは未整備である。	×
スラバヤ・マラン	<ul style="list-style-type: none">様々な業種が集まっているため、ゴム・樹脂製品の需要が多い。二番目の外港であるタンジュンペラク港に近く、輸出入の利便性が高い。	○



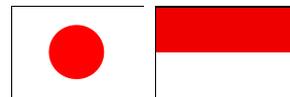
8. 金属産業



地域	金属産業にとっての優劣	評価
タンゲラン	<ul style="list-style-type: none">様々な業種が集まっているため、金属製品の需要が多い。	○
ブカシ・カラワン	<ul style="list-style-type: none">様々な多くの業種が多く集まっているため、金属製品の需要が多い。	◎
バンドン	<ul style="list-style-type: none">軍事産業、航空機産業の拠点であり、その分野での需要は期待される。	○
スマラン	<ul style="list-style-type: none">金属製品を必要とする産業が、今後次第に西ジャワ州から移転して来ると期待される。	△
ジョクジャカルタ	<ul style="list-style-type: none">当地でゴム・金属製品を調達する産業は少ない。需要の多い西ジャワ州までの輸送インフラは未整備である。	×
スラバヤ・マラン	<ul style="list-style-type: none">様々な業種が集まっているため、金属製品の需要が多い。	○



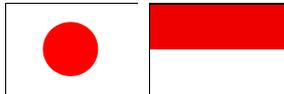
9. 情報技術産業



地域	情報技術産業にとっての優劣	評価
タンゲラン	<ul style="list-style-type: none">人件費や物価が高く拠点の運営に不利である。	×
ブカシ・カラワン	<ul style="list-style-type: none">人件費や物価が高く拠点の運営に不利である。	×
バンドン	<ul style="list-style-type: none">学園都市で優秀なIT技術者を確保し易い。	◎
スマラン	<ul style="list-style-type: none">人件費や物価はさほど高くないが、優秀な人材の確保の面で不利である。	△
ジョクジャカルタ	<ul style="list-style-type: none">学園都市で優秀なIT技術者を確保し易い。	◎
スラバヤ・マラン	<ul style="list-style-type: none">人件費や物価が高く拠点の運営に不利である。	×



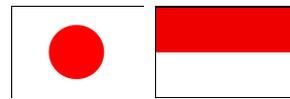
10. 電機産業



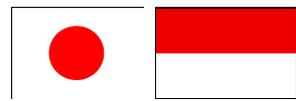
地域	電機産業にとっての優劣	評価
タンゲラン	<ul style="list-style-type: none">人口3,000万人の大ジャカルタ圏と言う巨大消費市場に隣接している。最大の外港であるタンジュンプリオク港に近く、輸出入の利便性が高い。	○
ブカシ・カラワン	<ul style="list-style-type: none">人口3,000万人の大ジャカルタ圏と言う巨大消費市場に隣接している。最大の外港であるタンジュンプリオク港に近く、輸出入の利便性が高い。様々な多くの業種が集まっているため、電機製品の需要が多い。	◎
バンドン	<ul style="list-style-type: none">人口250万人は巨大消費市場ではないが、大ジャカルタ圏までは高速道路と鉄道による輸送インフラが活用出来る。	○
スマラン	<ul style="list-style-type: none">人口170万人は巨大消費市場ではないが、大ジャカルタ圏までは高速道路と鉄道による輸送インフラが活用出来る。	○
ジョクジャカルタ	<ul style="list-style-type: none">当地で電機製品を調達する産業は少ない。需要の多い西ジャワ州までの輸送インフラは未整備である。	×
スラバヤ・マラン	<ul style="list-style-type: none">様々な業種が集まっているため、電機製品の需要が多い。二番目の外港であるタンジュンペラク港に近く、輸出入の利便性が高い。	○



11.自動車産業



地域	自動車産業にとっての優劣	評価
タンゲラン	<ul style="list-style-type: none">JIT対応が要求される自動車メーカーへの納入は、ジャカルタ市内の大渋滞と言う障害で不利となる。	×
ブカシ・カラワン	<ul style="list-style-type: none">殆どの自動車メーカーが集約している地区なので、サプライチェーンの面で最適である。	◎
バンドン	<ul style="list-style-type: none">殆どの自動車メーカーが集約しているブカシ・カラワン地区までは、高速道路による輸送インフラが活用出来る。	○
スマラン	<ul style="list-style-type: none">殆どの自動車メーカーが集約しているブカシ・カラワン地区までは、高速道路による輸送インフラが活用出来るが、遠距離であることが不利となる。	△
ジョクジャカルタ	<ul style="list-style-type: none">殆どの自動車メーカーが集約しているブカシ・カラワン地区までの、輸送インフラは未整備である。	×
スラバヤ・マラン	<ul style="list-style-type: none">殆どの自動車メーカーが集約しているブカシ・カラワン地区までは、高速道路による輸送インフラが活用出来るが、遠距離であることが不利となる。	×



インドネシア進出サポート公式サイト

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイトです
(Googleトップランキング)

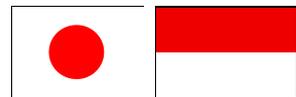
インドネシア最新情報ブログ

あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介しています

インドネシア進出サポートウェブセミナー

公式サイトに掲載されたセミナースライドサンプルの中から、ダウンロード件数の多いもの順に音声解説付きのスライドをアップロードしています

**愛する二つの祖国である、日本とインドネシアの発展のため、
全てのコンテンツは無料で公開されています**



ご清聴ありがとうございました
ここからは質疑応答です